

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	まちづくり相談員派遣事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	まちづくり活動を行う団体	意図	自主的なまちづくり活動を行う団体に対し、まちづくりの専門家を派遣する支援を行うことによって、協働のまちづくりを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的なまちづくり活動を行う団体に、まちづくりの専門家である相談員を派遣し、その費用を市が負担する。</li> <li>市民にまちづくりに関する専門的な知識や経験を生かしたアドバイスを行い、市民の要望を取り入れた協働のまちづくりを推進する。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年6月1日に、流山市まちづくり相談員派遣要綱を制定。</li> <li>平成28年度末時点の相談員登録数は8人。</li> </ul>			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		相談員派遣数	5	1	0	人	
	相談員派遣団体数	3	1	0	団体	???	
	講習会	0	0	0	回	???	
指標で表すことができない定性的な成果	平成24年10月に施行した街づくり条例に関するパンフレット等により、より多くの団体等に対し広報を行い周知を図っている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度は3団体へ5回派遣しており、平成27年度は1団体へ1回派遣している。平成28年度は派遣はないものの、周知活動を行った結果、平成29年度に4回の派遣を行うことになっている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,864,000	3,032,000	2,746,000				
事業費(b)(円)	100,000	20,000					
うち一般財源	100,000	20,000					
職員給与費(c)(円)	2,764,000	3,012,000	2,746,000				
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	広報やホームページだけでなく、自主的なまちづくり活動を行う団体に対し、まちづくり相談員の派遣制度について周知を行う。	取組の課題	街づくり条例における制度の活用実績が伸びない。
今年度(H28)に実施した取組	地区の街づくりの自主ルールがある地域に対し、街づくり相談員のパンフレットを配布し周知を行った。	今後の改善計画	地区街づくり計画制度や、街づくりに関する相談員派遣制度の周知を行う。